

令和7年度 学校教育目標・指導の重点

京都市立桂川中学校

1. 学校教育目標

「主体的な発信力・行動力を身につけ、社会性のある生徒の育成」

あらゆる教育活動を通して、生徒の「**主体的な発信力・行動力**」を引き出し自己肯定感が得られる生徒を育てる。そして、「自ら学ぶ力・自ら律する力」を高めていくことを通して「**社会性**」を身につける。

<目指す子ども像>

「自分の軸を持ち、愛し愛される生徒」

- (1) 自分の思いや考えを分かりやすく、他者へ伝えることができる。
- (2) 自身の意志や考えに基づき、行動することができる。
- (3) 自分や他者を大切にできる。

<目指す教職員像>

「生徒から分かりやすく、信頼される教職員」

- (1) 「子どもの心」に寄り添い、支えることができる。
- (2) 生徒に考え、気づかせ、かまいすぎず伴走者ができる。
- (3) 「専門職」として授業を大切にし、探究し学び続ける。

<キャッチフレーズ>

1学期：「挑戦」、2学期：「つながり」、3学期：「感謝」

<生徒会スローガン>

「#スマイリング～120%挑戦～」

2. 学校経営方針

(1)「教育は未来づくり」を理念として教育活動を行う。

意図的・計画的・継続的・組織的に働きかけることにより、生徒の望ましい変容を目指す。すべての教育活動の成果は生徒の変容にある。我々は教育を通して「未来づくり」をしているという意識をもち、日々の教育活動にあたっていく。

(2) みんなが一つの目標に向かって（カリキュラムマネジメントを重視して）教育活動を行う。

個々の教職員の教育観、主体性や総意工夫を大切にしながら、教科の間をつなぎ、学年や学級の間をつなぎ、さらには教職員をつなぐものが「学校教育目標や目指す子ども像・目指す教職員像」である。そし

てカリキュラムマネジメントを重視して、計画的に意図的に教育活動を展開する。また、評価評定に関する十分な共通理解や ICT 機器やシステムを活用した授業展開など教育効果の充実を目指す。

（３）日常の学校生活の中心は「授業である」を再認識する。

学校の中心は授業である。１時間１時間の授業を大切にする。また、ベースになるのは学級である。学級や授業におけるルール作りは、どの学級でも、どの授業でも共通に取り組むことが最も大切である。また日々の学活・清掃などの積み重ねが大切である。

３．重点目標

（１）創意工夫を活かした特色ある教育活動の展開

- ①教職員の創意や意見を活かした教育活動の展開
- ②人権教育の視点にたった教育活動の展開
- ③少人数教育やチームティーチングを通して、個の実態に応じたきめ細やかな学習指導の推進
- ④生徒会活動を充実し、支部生徒会や「生徒会サミット」とのつながりの強化
- ⑤道徳教育の充実（計画的な実施と評価）
- ⑥総合的な学習の時間の充実（３年間の生徒の成長を見通した取組）
- ⑦「キャリアパスポート」等を活用した生き方探究教育の充実

（２）学習指導の充実

- ①授業規律の徹底・教師の５分前行動
- ②タブレット・ICT 機器・システム等を活用し、わかる・できる・楽しい授業に向けた授業改善
- ③「ミライシード」の効果的な活用（学習習慣・基礎学力・自主学习・授業と家庭学習のつながり）
- ④学習のめあて（本時の目標）の明確化と振り返り場面の設定
- ⑤言語活動の充実と協働的な学習の手法を取り入れた伝え合う場面の設定
- ⑥目標と指導と評価の一体化（３観点の改善点を明確化し授業改善に生かす）
- ⑦学校図書館の活用を通じた主体的・意欲的な学習活動や読書活動の充実
- ⑧校内研修の充実と互いに学び合い、自己研鑽を積む教職員集団づくり

（３）生徒指導の充実

- ①人権を尊重し、いじめや暴力を許さない学級集団づくり
- ②教職員と生徒、生徒相互の信頼関係の確立
- ③「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」
- ④個々の状況・課題に応じた適切な支援と教職員間の情報共有（保護者との連携）
- ⑤正統派の生徒を大切にする学級・学年経営
- ⑥報告・連絡・相談・確認の徹底
- ⑦みんなで、すぐに、粘り強く、小さな問題行動を見逃さない体制づくり
- ⑧生徒の心に寄り添いつつ毅然として行う、心に落ちる指導の完結

（４）人権教育・道徳教育の推進

- ①教職員の人権問題に対する感覚を磨き、認識や理解の深化
- ②人権学習の計画的な実施とあらゆる教育活動の中で、生徒の人権意識の高揚
- ③「考える道徳」「議論する道徳」の実践（授業づくり）

④道徳教育は教育活動全体を通じて行うという共通認識

⑤日常のあらゆる場面で、生徒の心を耕す指導

(5) 特別支援教育の充実

①「心のバリアフリー」の推進

②支援の必要な生徒への指導の充実（保護者との連携）

③「個別の支援・指導計画」の作成と全教職員による情報の共有

④通級指導教室担当・スクールカウンセラー・養護教諭との連携

⑤ユニバーサルデザインを踏まえた、誰にとってもわかりやすい授業展開

(6) 生徒会活動・学校行事の充実

①生徒会活動の充実・発展（生徒に達成感や成就感を味わわせる）

②行事ごとの達成感

③生徒同士が互いに高め合える集団づくり

(7) 健康の増進と体力の向上

①命の大切さや心身の健康に対する自覚を高める指導の推進（保健指導・健康教育の充実）

②「体力アップ推進プラン」に基づき、生徒が運動に親しみ、体力向上を目指した指導の促進

③食育教育に計画的に取り組み、生徒の主体的な基本的生活習慣確立の推進

(8) 教職員としての責務と役割を自覚し、創意工夫に富んだ指導の展開（チーム桂川）

①情熱と深い愛情に基づき、一人一人の生徒（家庭）の実態に応じた粘り強い指導

②「信じる・認める・任せる」互いに尊重し合い、信頼し合い、相互批判ができる教職員集団

③教職員間のコミュニケーションを何よりも大切にし、日常的な「報・連・相」の意識

④からだも心も元気に過ごすための、「働き方改革」の推進

(9) 小中一貫教育と学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上

①各小中学校の良さを共有し、義務教育9年間として教育活動の推進・徹底

②学校運営協議会、PTA との連携による保護者・地域の期待にこたえられる学校づくり

③学校の諸行事や学校だより、学年・学級通信、HP、SC 通信、保健だより等を活用した情報発信

④学校公開、授業参観の充実と地域行事への協力と積極的な参加

令和7年度 桂川中学校グランドデザイン

「主体的な発信力・行動力を身につけ、社会性のある生徒の育成」

＜知＞確かな学力

授業規律の徹底
抜本的な授業改善

＜徳＞豊かな心

道徳・人権教育の推進
生徒会活動の充実

＜体＞健やかな体

体力アップ推進プラン
命の教育の充実

目指す生徒像

「自分の軸を持ち、愛し愛される生徒」

- (1) 自分の思いや考えを分かりやすく、他者へ伝えることができる。
- (2) 自身の意志や考えに基づき、行動することができる。
- (3) 自分や他者を大切にできる。

目指す教職員像

「生徒から分かりやすく、信頼される教職員」

- (1) 「子どもの心」に寄り添い、支えることができる。
- (2) 生徒に考え、気づかせ、かまいすぎず伴走者ができる。
- (3) 「専門職」として授業を大切にし、探究し学び続ける。

桂川中ブロック(9年間)

小中一貫・学校運営協議会・PTA

- ★教職員…授業交流（互いに学び合い、高め合う）
強みや課題の共有・共に育てる喜び
- ★生徒…行事交流（学校・地域）
児童生徒会交流・授業体験・部活動体験
オープンスクール
- ★保護者…授業参観・地域行事交流・PTA 活動交流
- ★地域…安心・安全の町づくり
地域の子は地域で育てる
学校応援団

・チーム桂川(教職員のチームワーク)
・教職員の意識改革
・ビジョンの明確化

見つける・つなげる・変わる

信じる・認める・任せる

管理職のリーダーシップと
マネジメントスキルの向上
「生き方」「生き合い方」を育てる